

## NPO北海道十勝バイクロジーをすすめる会

**HOROSHIKAサイクリング**

## 爱好者60人、峠を疾走



【鹿追・上士幌】2019年4月26日午前10時から午後3時まで、NPO北海道十勝バイクロジーをすすめる会主催の「HOROSHIKAサイクリング」が開催された。参加者は約60人。会場は上士幌町側の峠頂上。峠を結ぶ道道鹿追縦平線の峠を自転車で走る。参加者は、峠頂上の公園内を走るルートを満喫していた。

「NPO北海道十勝バイクロジーをすすめる会」などの実行委が主催した。鹿追の自然別湖と、上士幌のぬかびら源泉郷スキーリゾートの通行を全面再開する。(第地信一郎 大庭イサク)

公園内を走る幌鹿峠ルートを満喫していた。道道鹿追縦平線は復旧工事が完了し、26日午前10時半、2年8ヶ月ぶりに一般通行を全面再開する。

かびら源泉郷スキーリゾートのゲートをスタート地点に、参加者が幌鹿峠の頂上を目指した。

上士幌側には24人が集められた。幌鹿峠の點頭前は年に数回走っていたという帯広市の自営業小川宣幸さんは、「坂道の厳しさと景色の良さは管内でも有数のルート。再開はうれしい」と話した。鹿追側には30人が集まつた。

参加者は午前10時、両スタート地点から一斉に出発。険しい坂道では脚力を發揮。峠頂上から下りでは、スピードに乗って風を切り、さつそどうと駆け抜けた。

夫婦で参加したオホーツク管内訓子府町の会社員山内新一さん(43)は、「車両通行のないコースを走れるのは貴重な体験。安全に快適に走行できた」。札幌市会員高木亨宏さん(44)は、「然別湖畔の眺めが最高だった」と話し、大雪山国立